



現在のリストカット・オーバードーズを どう理解するか？

— 生きるための対処の一方で、死へのハードルを下げる行為 —

令和8年3月12日（木）15時～16時30分

開催方法：オンライン（ZOOM）

子ども・若者は精神的な苦痛を和らげるために、リストカットやオーバードーズ（過量服薬）などの自傷行為を選択する場合があります。こうした行為は、単なる「問題行動」ではなく、心の痛みやSOSのサインであることが多く、周囲の理解と適切な対応がとても重要です。

子どもに関わる大人がこうした状況に直面した際に、どのように受け止め、どのように支援できるかを学ぶための研修を開催いたします。ぜひご参加ください。

・ 対象・定員

行政職員、教職員、警察・消防関係者、児童福祉・自殺対策に関わる民間団体関係者等 100名

・ 参加費

無料

・ 申込方法（〆：2/27）

下記フォームかQRから申込みください
<https://forms.office.com/r/0sjJcXMEP>



● 講師紹介

名越 泰秀 先生



【ご経歴】

京都第一赤十字病院精神科（心療内科）部長。医学博士
 精神保健指定医 臨床研修指導医
 日本精神神経学会認定 精神科専門医・指導医・認知症診療医
 日本総合病院精神医学会認定 一般病院連携精神医学専門医
 （精神科リエゾン専門医）・指導医
 日本心身医学会代議員 日本総合病院精神医学会評議員
 京都府家庭支援総合センター及び南丹保健所にて児童思春期嘱託医として長年活躍

主催・問い合わせ

京都府地域福祉推進課（075-414-4628）